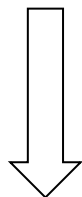


弾道ミサイル発射時の対応

ミサイル発射情報、避難の呼びかけがあったら

- 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとは判断された場合



第1報 「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、または地下に避難してください。」

- ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとは判断された場合。

第2報 「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中に、または地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。」

在 校 時	【屋外にいる場合】 ○外で活動中の教員・児童に直接連絡 ○姿勢を低くし頭部を守るようにして、速やかに教室等の屋内に避難 ○屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守るようにする。 【屋内にいる場合】 ○校内放送により知らせる ●「ミサイル発射情報が出されました。先生の指示に従い、安全な場所にすぐに避難してください。」 ◇学校内のできるだけ窓のない空間に避難誘導 ◇窓がある部屋にいる場合は、できるだけ窓から離れるようにする。 ●「上空を通過した模様です。落ち着いて授業を再開してください。」
登 下 校 時	【屋外にいる場合】 ○近くの建物（頑丈）に避難する。 ○近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。 ○不審なものを見つけた場合は、決して近寄らない。近くの人に連絡する。 【自動車等の室内にいる場合】 ○ガソリンに引火の恐れがあるため、車を止めて建物（頑丈）に避難する。 ○避難できる建物がない場合には、車から離れて地面に伏せ頭部を守る。 ○車外に出ると危険な場合やすぐに車外に出れない場合は、車内で姿勢を低くして頭部を守る。 ○公共交通機関（バスや電車）利用の時には、運転手や係員の指示に従う。

休日・夜間	【屋外にいる場合】 ○近くの建物（頑丈）に避難する。 ○近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せて頭部を守る。 ○高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合は、車を安全な場所に止め車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機する。 【屋内にいる場合】 ○窓のない部屋に移動する。 ○窓がある部屋にいる時には、できるだけ窓から離れる。
-------	--

ミサイルが日本の上空を通過または日本には飛来せず、領海外の海域に落下したら

- 日本の上空を通過した場合

第2報 「ミサイル通過。ミサイル通過。さきほどのミサイルは、〇〇地方から〇〇へ通過した模様です。不審なものを発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。

- 日本の領海外の海域に落下した場合

第2報 「先ほどのミサイルは、〇〇海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

○上記のメッセージが、Jアラートにより、防災無線、緊急速報メール等が起動し発信されます。

○上記のメッセージがあった場合には、引き続き屋内に避難する必要はありません。

○登下校などで屋外にいた場合は、防災無線などの情報によって安全に行動をします。

ミサイルが着弾したら

- 日本の領土・領海に落下した場合

第3報 「ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが〇〇地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。」

- 弾道の種類（通常弾道であるのか、核・化学弾道等であるのか）を着弾前に特定するのは困難であり、弾道の種類により、被害の様相や対応が大きく異なる。
- 上記のメッセージがあった場合には、落下場所などについてテレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて情報収集に努める。（避難の解除・継続の情報も伝達される・落下場所によっては不測の事態も想定されるので危険意識を持って対応する。）

共通	【屋外にいる場合】 ○口と鼻をハンカチでおおい、現場からすぐに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。 ○不審な物を発見した場合には、決して近寄らないで、近くの大人に連絡する。 【屋内にいる場合】 ○換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。 ※ 非常時には電話がつながりにくくなります。
----	--